



取扱説明書

ドレンキャビネット／給廃油キャビネット

DCB-300V	ITEM No. 881218
OSC-301V	ITEM No. 881219
OSC-302V	ITEM No. 881220
OSC-303V	ITEM No. 881221
OSC-304V	ITEM No. 881222



<DCB-300V>



<OSC-303V>

⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載の「製品お問い合わせはこちらへ」にご連絡ください。

- 使用目的

本製品はペール缶などに溜めた廃油もしくは廃 LLC をシンクに流したり、ポータブルオールドレンに溜めた廃油もしくは廃 LLC を回収し、移送したりする処理装置です。内蔵のエア駆動式ポンプにより、廃油もしくは廃 LLC の移送を簡単に行うことができます。また、給廃油キャビネットでは別途エア駆動式ポンプを介して、油脂庫に格納された新油のドラム缶と接続することで、オイルコックの操作により、新油を必要な量だけジョッキなどへ供給することもできます。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただくようによくお読みください。



警告： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 設置・使用上の注意事項

警告

-  - 作業者、保守要員の方は、本製品の操作、または保守を行う前に本書をよく読んで、完全に理解できるまでは作業を行わないでください。
-  - 本製品を設置する際は水平な場所を選び、アンカーボルトを使用し、外れないよう確実に取り付けてください。転倒した製品にぶつかり、ケガをする可能性があります。
-  - 本製品を使用する前に日常点検を必ず実施してください。
-  - 異常に気がついた場合はすぐに使用を中止してください。
-  - 本製品を取り扱う際は、適切な保護具（フェイスマスク、耳栓、安全靴、軍手など）を着用してください。
-  - ポンプの分解・点検・消耗品交換を行う場合は、人身事故を防止するため、必ず供給エアを止めて、配管内およびポンプ内の残圧を除去してから行ってください。
-  - 本製品で移送する廃液に関しては、メーカーの取り扱い注意事項（SDS など）に従ってください。
-  - 本製品を Zone 0 の防爆エリアに設置しないでください。また、本製品を防爆エリアに設置する際は必ず製品とポンプにアースを取り付けてください。アースを付けずに使用した場合、火災や爆発に繋がる可能性があります。（防爆エリアに関しては IEC 60079-10 を参照してください。）
-  - 本製品は廃油もしくは廃 LLC 専用です。ブレーキフルード、有機溶剤などのパッキンを侵す液材および、揮発性の高い液材は絶対に使用しないでください。液材の種類によっては火災、爆発や製品の破損に繋がる可能性があります。

注意

-  - 本製品を移動する際は、製品を落とさないように注意して移動してください。また、人力で移動する場合は必ず 2 人以上で移動してください。1 人で移動を行った場合、腰を痛めるなど傷害の原因となります。
-  - 本製品を設置する際は雨水や水のかからない場所に設置してください。製品が濡れた場合、製品の故障や環境汚染に繋がる可能性があります。
-  - 本製品へのエア供給源には、必ずバルブを取り付けてください。バルブを取り付けずに製品を使用した場合、故障の原因となる可能性があります。
-  - エアホースを接続する前に、必ずフットバルブが OFF になっているのを確認してください。不意にポンプが作動しオイルが流出することがあります。
-  - 本製品の使用温度は 0～60 ℃です。この範囲を超える廃液を流さないでください。製品の故障に繋がる可能性があります。
-  - ポンプの最高使用エア圧力は 0.7 MPa です。これ以上の圧力での使用はポンプの破損により事故を招くことがあります。必ず 0.7 MPa 以下でご使用ください。
-  - 本製品を取り扱う際は、蓋に手や指を挟まないように注意してください。また、上蓋のチェーンに引っ掛けないよう注意してください。

注意



- 本製品を取り扱う際は、部品でケガをする恐れがありますので、十分に注意してください。



- 本製品を取り扱う際にフットバルブを強く蹴らないでください。製品の故障に繋がる可能性があります。



- 本製品のシンクの最大容量は約 30 L ですが、廃液を一度に流す量は 20 L 程度にしてください。製品から廃液が溢れ、施設が汚染される可能性があります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。



- 本製品のシンクに廃液を入れた後は溜めずに廃油タンクへ排出してください。



- 本製品の蓋の上に 15 kg 以上の物を置かないでください。蓋が破損し、飛び散った廃液により施設が汚染される可能性があります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。



- 取り扱う液材は環境汚染に繋がる可能性があるため、地面などに排出しないでください。有害物質などの処分は液材メーカー取り扱い事項（SDS など）や適用される法令に従ってください。また、本製品を廃棄する場合も、本製品内に残った液材を除去したうえで、法規に従って処分してください。（公認の産業廃棄物処理業者にお問い合わせください。）



- 本製品で取り扱う廃油と廃 LLC は混ぜないでください。環境汚染の原因となる可能性があります。



- 廃液が人体に付着した場合、速やかに洗い流してください。



- ポンプ作動時には、キャビネットに耳を当てないでください。聴覚障害となる可能性があります。



- オイルエレメントなどの部品をシンク内に投げ入れたり、落下させたりしないでください。アミやシンクが変形し破損する可能性があります。



- “シンク” “カブラ” の切り換えバルブの開閉はゆっくりと行ってください。



- オイルコックの開閉はゆっくりと行ってください。



- 本製品の使用後は、必ずホース残圧除去を実施してください。残圧を除去せずに放置した場合、配管内から廃液が漏れ、施設を汚染する恐れやポンプの故障に繋がる可能性があります。



- 本製品を分解する際は、配管内に残った廃液を必ず除去してください。ウエスなどを使用し、廃液が配管内から漏れないように注意して分解してください。配管部から廃液が漏れると、施設が汚染される恐れがあります。このような二次災害に関しては、使用者側の責任となります。

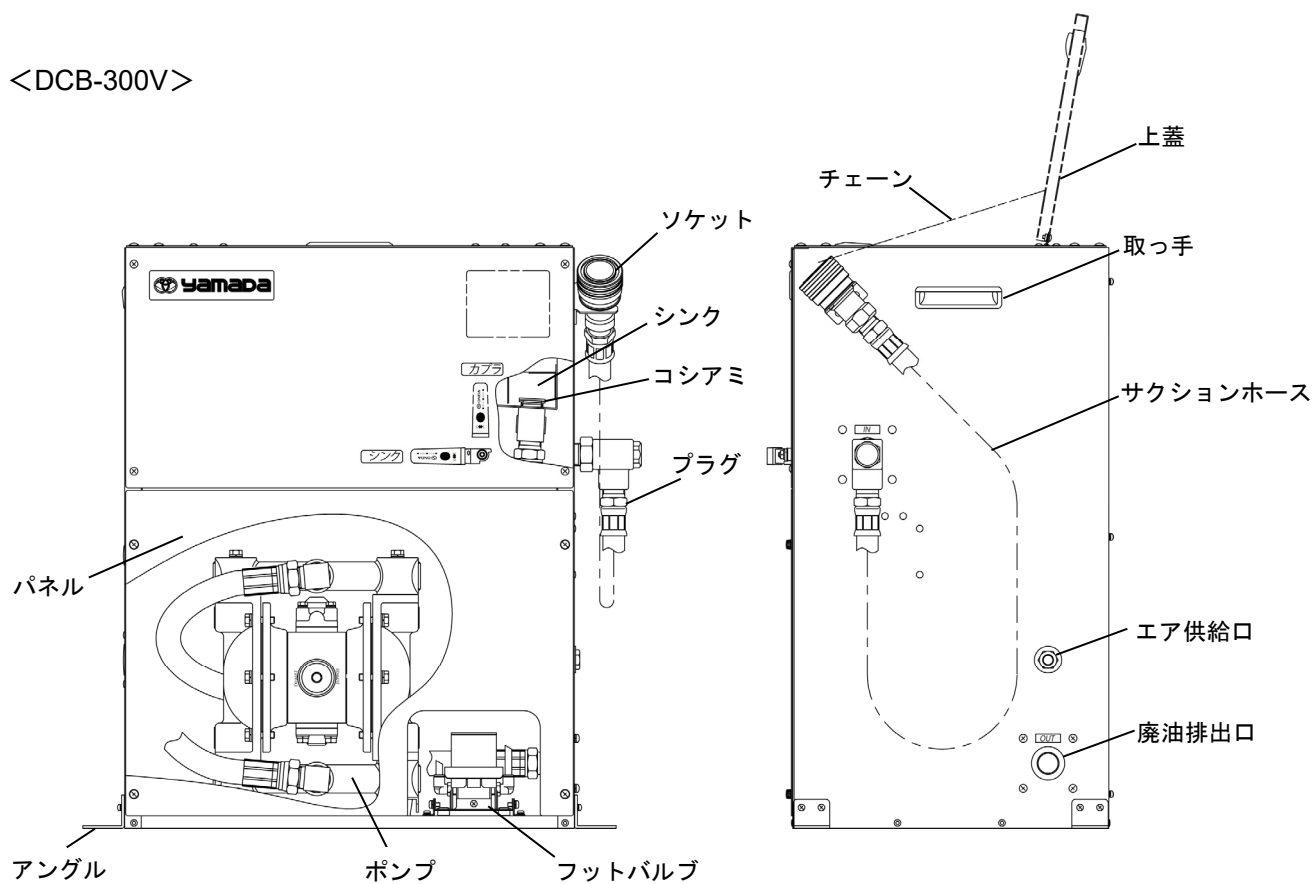
目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 設置・使用上の注意事項	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 各部の名称	1
1.2 梱包内容	2
2. 準備	
2.1 上蓋の組み換え（OSC-301～304V の場合）	4
2.2 オイルバルブスタンドの取り付け（OSC-301～304V の場合）	5
2.3 廃油排出口とエア接続口について	7
2.4 付属品の取り付け	9
2.5 パンチングアミの取り付け方法変更	10
3. 設置	
3.1 ゴムシート（オプション）の取り付け	11
3.2 製品の設置（DCB-300V および OSC-301～304V）	11
3.3 新油供給配管の接続（OSC301～304V のみ）	12
4. 使用方法	
4.1 シンクからの廃液排出	13
4.2 オイルドレンなどからの廃液排出	14
4.3 新油の供給（給廃油キャビネットのみ）	14
5. 保守・点検	
5.1 日常点検	15
5.2 定期点検	15
5.3 消耗品	15
5.4 保守	15
5.5 故障の点検とその対策	17
5.6 ポンプの取り外し方	17
6. 組立図・パーツリスト	
6.1 881218 ドレンキャビネット（DCV-300V）	18
6.2 855272 本体組立	19
6.3 881219～881222 給廃油キャビネット	20
6.4 686827 オイルコック（OV-55）	21
7. 主要諸元	
7.1 仕様	22
7.2 外観図	22
8. 製品保証登録シート	25
9. 保証規定	26

1. 各部の名称

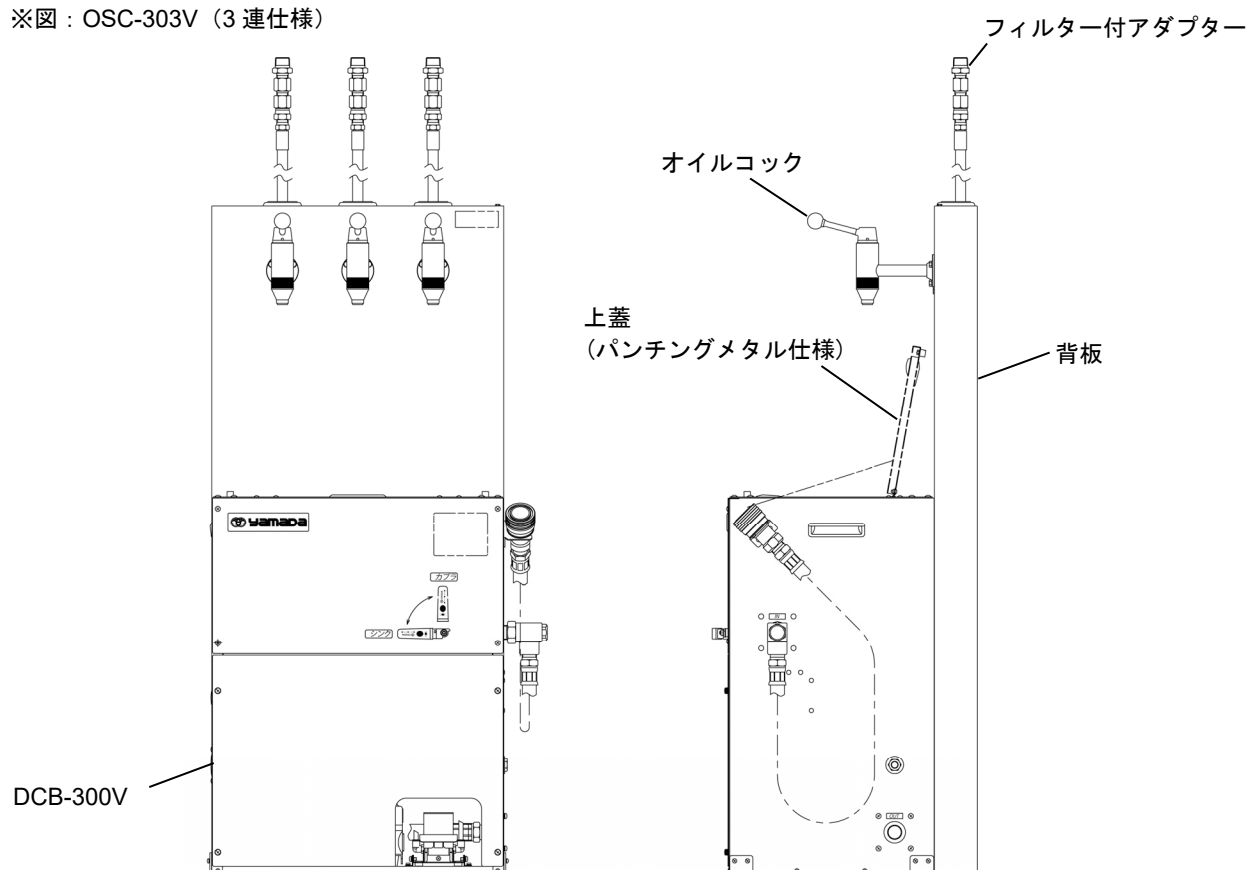
1.1 各部の名称

<DCB-300V>



<OSC-301~304V>

※図：OSC-303V（3連仕様）



1.2 梱包内容

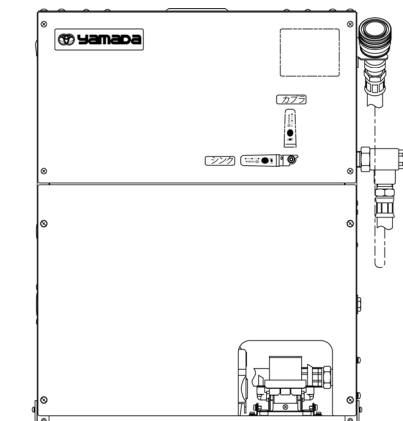
1) DCB-300V

本製品には、DCB-300V 本体以外に下記の付属品が含まれています。

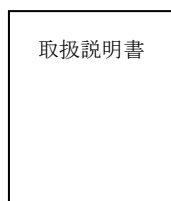
開梱後、ただちに輸送中の損傷がないかおよび付属品の欠品がないか確認してください。

また、締結部および配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増し締めを行ってください。

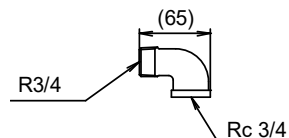
<881218 DCB-300V 本体 1 台>



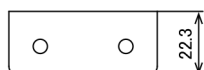
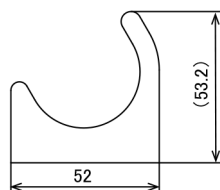
<取扱説明書 1 部（本書）>



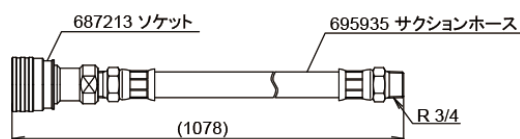
<634034 ストリートエルボ 1 個>



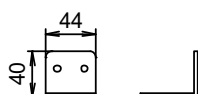
<717416 フック 1 個>



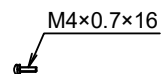
<サクションホース 1 本>



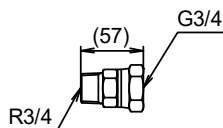
<717203 アングル 4 個>



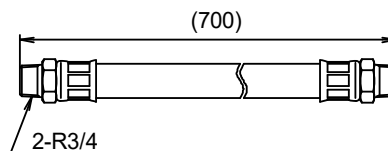
<684601 パネ座平座付きナベ小ネジ 10 本>



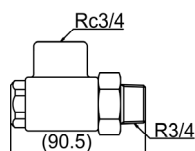
<680082 ユニオンアダプター 1 個>



<695659 ホース 1 本>



<687361 スイベルジョイント 1 個>

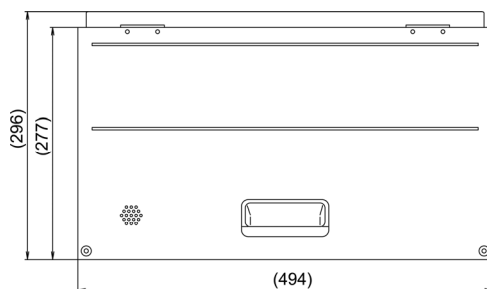


2) OSC-301～304V

給廃油キャビネットはドレンキャビネットと上蓋、オイルバルブスタンドの構成となります。
梱包内容も構成ごとの出荷となります。（上蓋は DCB-300V に同梱されます）

型式	ドレンキャビネット	上蓋	オイルバルブスタンド
OSC-301V	881218 : 1 台	805248 : 1 式	805243 : 1 式
OSC-302V			805244 : 1 式
OSC-303V			805245 : 1 式
OSC-304V			805246 : 1 式

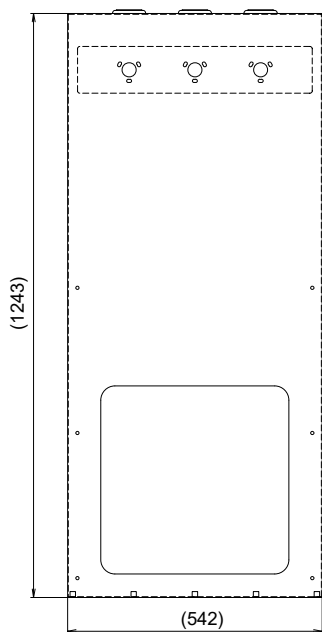
<上蓋（パンチングメタル仕様）：OSC-PM>



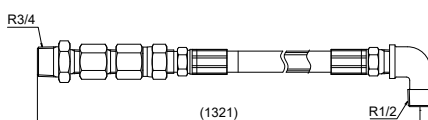
<オイルバルブスタンド：OV-1S～4S>

例）OV-3S の場合

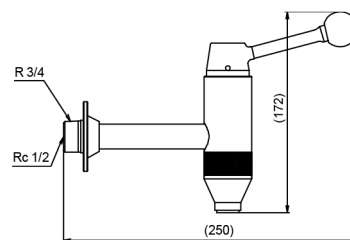
・ 833202 背板組立



・ 805257 ホース組立



・ 686827 オイルコック



（その他）

- ・ 611101 ボルト M6×1×20
- ・ 631012 平座金 M6
- ・ 631418 バネ座金 M6
- ・ 627010 ナット M6×1

オイルバルブスタンドの各仕様における付属品の員数

オイルバルブスタンド	OV-1S	OV-2S	OV-3S	OV-4S
背板組立	1 式 (833200)	1 式 (833201)	1 式 (833202)	1 式 (833203)
805257 ホース組立	1 式	2 式	3 式	4 式
686827 オイルコック	1 個	2 個	3 個	4 個
611101 ボルト	3 本	6 本	9 本	12 本
631012 平座金	6 枚	12 枚	18 枚	24 枚
631418 バネ座金	3 個	6 個	9 個	12 個
627010 ナット	3 個	6 個	9 個	12 個

2. 準備

⚠ 注意



- 配管の接続を行う際には、オネジ部にシール材（またはシールテープ）を塗布し緩まないよう確実に締め込んでください。
シール材が配管内に入らないように注意してください。
また、アースの導通を維持するために先端 2 山には塗布しないでください。
（ただし、ホースユニオンに接続する場合は塗布しません。）
配管接続後、各部の漏れがないか、また導通されているかを確認してください。

<DCB-300V の場合>

「2.3 廃油排出口とエア接続口について」以降から作業を行ってください。

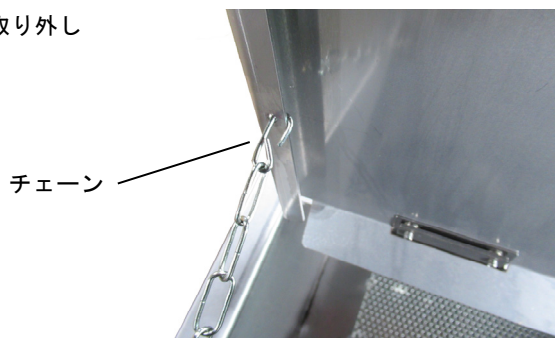
<OSC-301～304V の場合>

OSC シリーズは、「ドレンキャビネット」「上蓋（パンチングメタル仕様）」「オイルパルプスタンド」の 3 点から構成される製品です。これらの組立作業が別途必要となります。「2.1 上蓋の組み換え」以降に従って、各部品を接続してください。

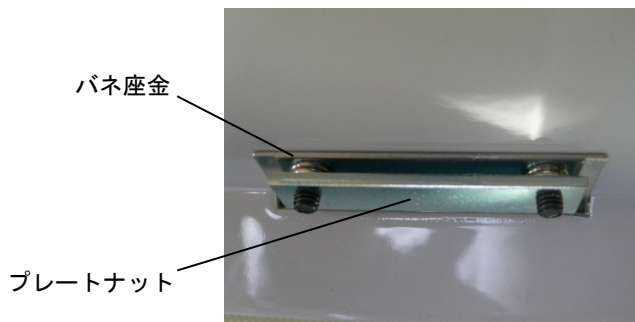
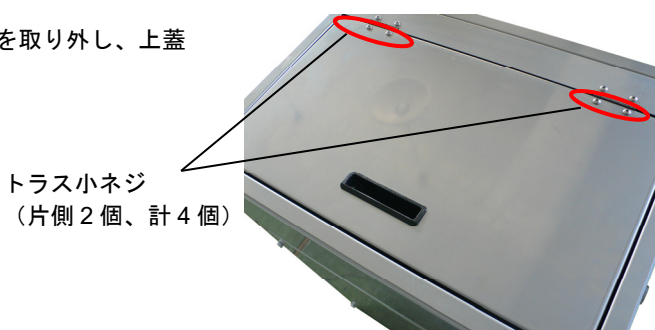
なお、各配管接続部品の取り付け・取り外しに伴うシールテープの巻き直しは実施してください。

2.1 上蓋の組み換え（OSC-301～304V の場合）

- 1) DCB-300V の上蓋に取り付けられている上蓋側のチェーンを取り外してください。



- 2) DCB-300V の上蓋を固定しているトラス小ネジなどを取り外し、上蓋を取り外してください。



上蓋締結部（裏側）

- 3) 上蓋（パンチングメタル仕様）を、1)で取り外したトラス小ネジなどを
用いて、DCB-300Vに取り付けてください。



- 4) 上蓋（パンチングメタル仕様）に、1)で取り外したチェーンを取り付け
てください。チェーンの取付穴は図の位置付近の穴を使用してください。

チェーン



2.2 オイルバルブスタンドの取り付け（OSC-301～304Vの場合）

- 1) DCB-300Vの背面にあるバネ座平座付きナベ小ネジ（6本）を取り外し
てください。

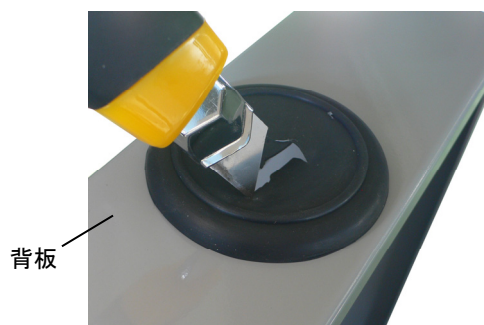
バネ座平座付きナベ小ネジ



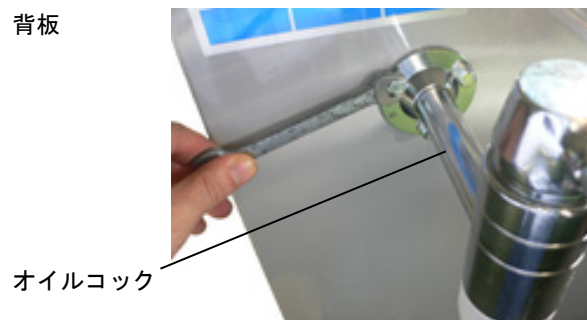
- 2) DCB-300Vの背面に背板を合わせ、1)で外したバネ座平座付きナ
ベ小ネジで共締めしてください。DCB-300Vに背板が固定されま
す。



- 3) 背板上面にあるグロメットにホース（付属品）を通すため、穴を
カッターなどで開けてください。
（穴はホースの金具が通る程度にしてください）



- 4) ボルト・平座金・バネ座金・ナット（付属品）を用いて、背板
にオイルコック（付属品）を取り付けてください。



- 5) オイルコックに、ストリートエルボ（付属品）を接続してくだ
さい。（推奨は上向きです）



- 6) グロメットにホース（付属品）を通し、ストリートエルボに接
続してください。



- 7) 帯電防止のため、アース線を接続してください。



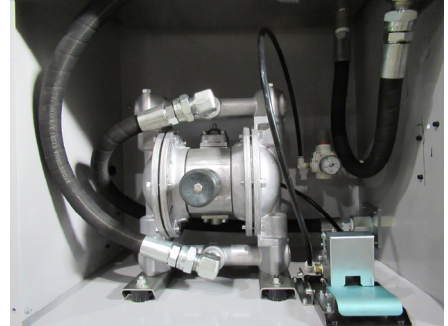
アース線を接続

2.3 廃油排出口とエア接続口について

DCB-300V は廃油の排出口とエア接続口は右側面に接続された状態にて出荷されますが、製品内部の配管部品を組み換えることで、これらを左側面に切り換えることもできます。

※設置場所に応じて必要と判断した場合のみ、下記に従って作業してください。

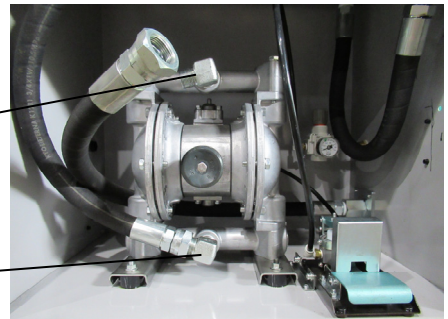
- 1) 本体前面のパネルを取り外してください。



- 2) ポンプの OUT 側に接続しているホースを取り外してください。

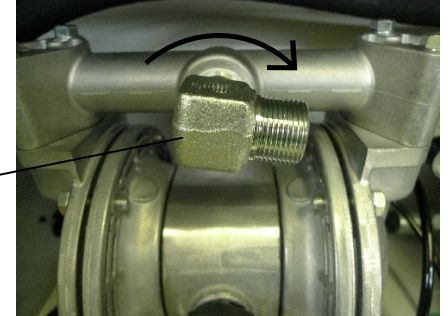
OUT 側

IN 側



- 3) ポンプの OUT 側に直接接続されているエルボの向きを対称位置に接続し直してください。

エルボの向き変更



- 4) 本体右側面の“OUT”ラベル付近のバネ座平座付きナベ小ネジ(4 個)を取り外し、ソケット組立を取り外してください。
(ソケット組立は内部でホースと接続したままとなりますが、外す必要はありません。)

ソケット組立



- 5) 本体左側面の“OUT”ラベル付近にはホールプラグが取り付けられているため、これを取り外し、右側面に付け換えてください。



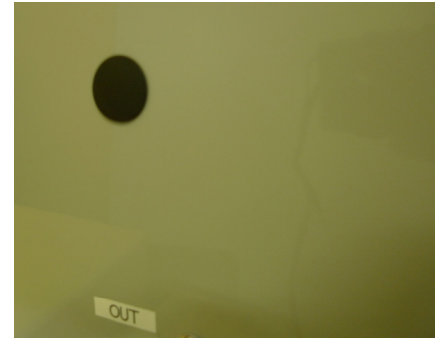
6) 4)で取り外したホース付きのソケット組立を左側面に付け換え、パネ座平座付きナベ小ネジ(4 個)にて確実に固定してください。

7) ソケット組立に接続されているホースを、3)にて向きを変えたエルボに再び確実に接続してください。
接続後、ホースに無理な曲げや潰れがないことを確認してください。

8) エア配管において、パネルユニオンに接続されているロングニップルおよびレギュレーターをセットで取り外してください。
このとき、レギュレーターに接続されているナイロンチューブも取り外してください。



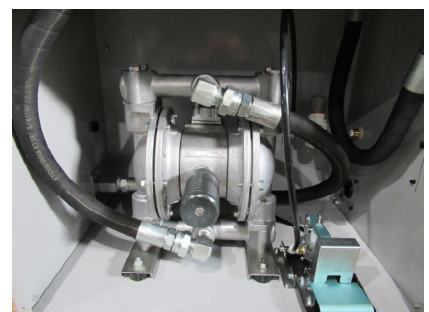
9) 左側面にある、“OUT”ラベル上部にあるホールプラグを取り外してください。



10) パネルユニオンを取り外し、9)で取り外したホールプラグ用の穴に接続してください。
ホールプラグは、右側面にパネルユニオンを取り付けていた穴に取り付けてください。

11) パネルユニオンにロングニップルとレギュレーターを再び確実に組み付けてください。(レギュレーターが逆さとなるため、圧力計表示も逆さとなります。)

12) 8)で取り外したナイロンチューブを再びレギュレーターに接続してください。
また、無理な曲げや潰れがないことを確認し、他の部品と干渉しないように注意してください。



13) レギュレーターの圧力設定後はパネルを閉めてください。

2.4 付属品の取り付け

DCB-300V の付属部品を下記に従い、接続してください。

- 1) "IN"ラベル付近のネジ部（3/4"）に、スイベルジョイント（付属品）を接続してください。



- 2) 1)で接続したスイベルジョイントにサクションホースを接続してください。

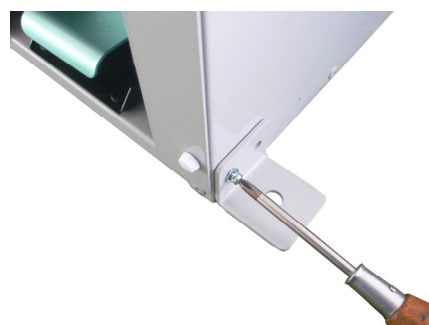
- 3) サクションホース先端のカプラをフックに引っ掛けてください。



- 4) バネ座平座付きナベ小ネジ（2 本／箇所（付属品））を用いて本体にアングル（付属品）を固定してください。

NOTE

締結部および配管接続部に緩みがないか確認してください。

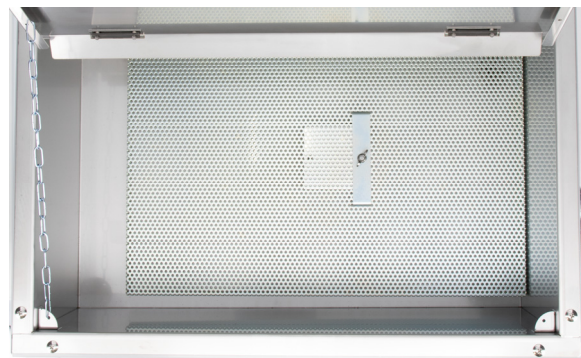


2.5 パンチングアミの取り付け方法変更

シンク内のパンチングアミには 2 種類の取り付け方法があります。

パンチングアミを右に寄せた取り付け方法が基本的な取り付け方法となります。(出荷状態)

しかし、シンクの排水口にあるコシアミに頻繁に詰まりが生じる場合には、パンチングアミを左寄せにした取り付け方法に変更していただくことで、コシアミの清掃がし易くなります、(都度、パンチングアミを取り外す必要がなくなり、さらにコシアミが常に見える配置となるため)



パンチングアミ右寄せ (出荷状態)

- 1) パンチングアミを固定している蝶ボルトを取り外してください。
- 2) パンチングアミを左寄せに移動してください。(排水口にコシアミを取り付けてあるため、少し浮かせて移動)
- 3) 蝶ボルトを用いてパンチングアミを固定してください。



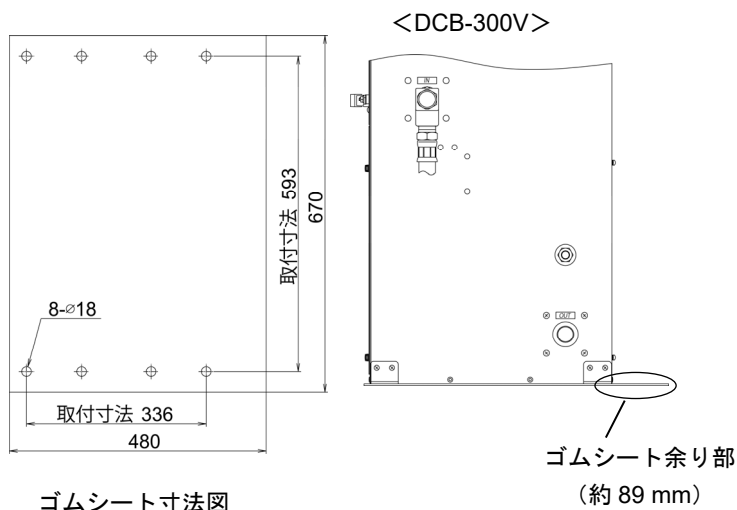
パンチングアミ左寄せ

3. 設置

3.1 ゴムシート（オプション）の取り付け

キャビネットの設置面に敷くゴムシート（オプション）をご購入された場合、設置場所にゴムシートを取り付けてから製品を設置してください。なお、このゴムシートは DCB-300V、OSC-301～304V のすべてに適用することができます。

一番設置面の大きい OSC シリーズにサイズを合わせているため、DCB-300V に適用する場合には、製品前方あるいは後方に余りが生じます。余りが不要であれば切断してください。



ゴムシート寸法図

3.2 製品の設置（DCB-300V および OSC-301～304V）

⚠ 警告

- ❗ - 本製品を設置する際は水平な場所を選び、アンカーボルトを使用し、外れないよう確実に取り付けてください。転倒した製品にぶつかり、ケガをする可能性があります。
- 🚫 - 本製品を Zone 0 の防爆エリアに設置しないでください。また、本製品を防爆エリアに設置する際は必ず製品とポンプにアースを取り付けてください。アースをつけずに使用した場合、火災や爆発に繋がる可能性があります。（防爆エリアに関しては IEC 60079-10 を参照してください。）

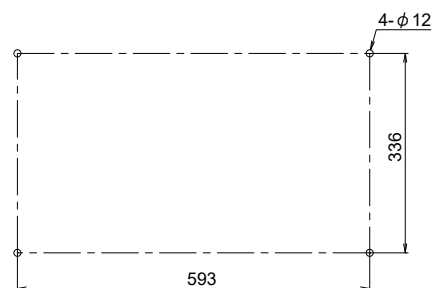
⚠ 注意

- ❗ - 本製品を移動する際は、製品を落とさないように注意して移動してください。また、人力で移動する場合は必ず 2 人以上で移動してください。1 人で移動を行った場合、腰を痛めるなど傷害の原因となります。
- ❗ - 本製品を設置する際は雨水や水のかからない場所に設置してください。製品が濡れた場合、製品の故障や環境汚染に繋がる可能性があります。

1) 設置場所に DCB-300V（または OSC-301～304V）を設置してください。

2) アンクルにはアンカーボルト固定用の穴を設けています。
（アンカー取付寸法:右の図参照）
アンカーボルトの施工により、本製品を確実に固定してください。

3) 左または右側面にある“OUT”ラベル付近の接続口は排出口です。
付属品としてホースやストリートエルボ、ユニオンアダプターを用意していますが、必要に応じて使用の上、設備側と配管接続してください。



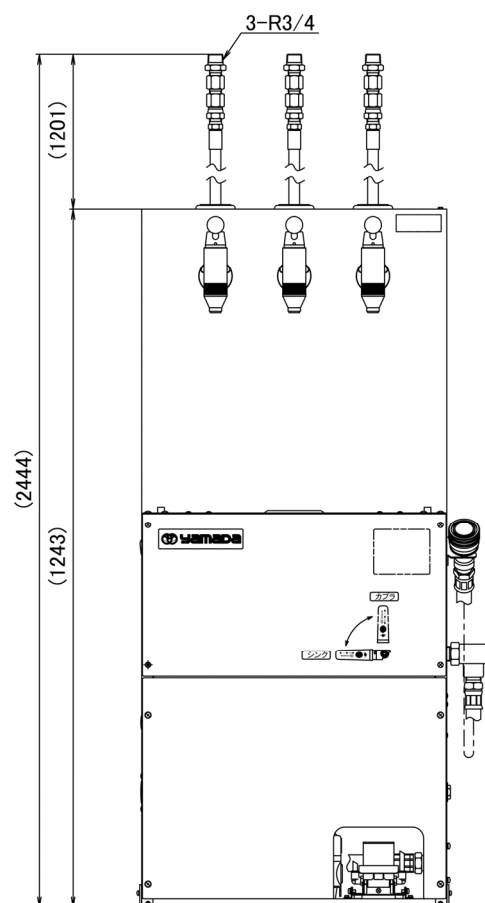
4) 左または右側面にあるエア供給口まで、供給エアの配管工事を行ってください。
本製品の内部には減圧弁が備わっておりますが、0.4 MPa に設定された状態にて出荷されております。ポンプ自体の常用圧力は 0.2～0.7 MPa ですが、快適にご使用いただくために 0.4～0.5 MPa の間に設定してください。

⚠ 注意

- 
 - 本製品へのエア供給源には、必ずバルブを取り付けてください。バルブを取り付けずに製品を使用した場合、故障の原因となる可能性があります。
- 
 - 配管の接続をする際には、緩み、漏れのないよう、ネジ部にシールテープを巻いて確実に締め付けてください。配管部から漏れた廃液により施設が汚染される可能性があります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。
- 
 - エア配管を接続する前に、必ず本製品前面のパネルを開けて、中にあるレギュレーターのツマミを左（反時計方向）に回し、またフットバルブがOFFになっているのを確認してください。

3.3 新油供給配管の接続（OSC301～304Vのみ）

- 1) 背板上部から接続しているホースを新油の供給配管と接続してください。
 なお、背板上面から約 1201 mm の位置がホースを一番延ばして届く位置になります。
 なお、オイルコックの最高使用圧力は 5.5 MPa となります。
 これ以上高い圧力にてオイルを供給すると漏れや破損の原因となりますのでおやめください。



4. 使用方法

本製品では前面にあるボールバルブの切り換えにより下記の使用が可能です。

- ・カブラは接続せずにボールバルブを"シンク"に切り換え ⇒ シンクに流した廃液を回収
 - ・別売りのオイルドレン (OD シリーズ) やドレンカート (DC-68) にカブラを接続し、ボールバルブを"カブラ"に切り換え⇒ 各製品に溜まった廃液を回収
- また、給廃油キャビネットではオイルコックの操作により新油の供給も可能です。
下記に従って、ご使用ください。



⚠ 警告



- 本製品で取り扱う廃液は、地面などに直接排出しないでください。廃液の処理は適用される法令に従って処理してください。



- 本製品は廃油もしくは廃 LLC 専用です。ブレーキフルード、有機溶剤などのパッキンを侵す液材および、揮発性の高い液材は絶対に使用しないでください。液材の種類によっては火災、爆発や製品の破損に繋がる可能性があります。

⚠ 注意



- 作業終了後および夜間・休日には、必ず本製品への供給源のバルブを閉めて配管・ホース内の圧力を抜いてください。供給源を止めずホースに圧力がかかったまま放置すると、パッキン・ホース類の損傷により液材が漏れ施設を汚染させるなどの二次災害が発生する可能性があります。このような二次災害については使用者側の責任となります。



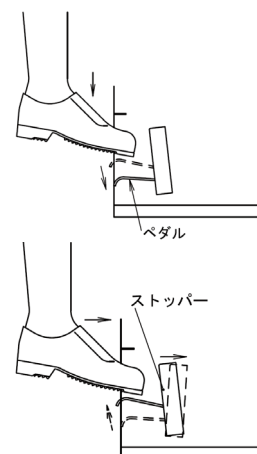
- オイルエレメントなどの部品をシンク内に投げ入れたり、落下させたりしないでください。パンチングアミやシンクが変形し破損する可能性があります。

4.1 シンクからの廃液排出

- 1) DCB-300V のシンクの蓋を開けてください。
- 2) サクションホース先端のカブラが何にも接続していないことを確認し、ボールバルブを"シンク"に切り換えてください。
- 3) トレー（弊社範囲外）などで受けた廃液をシンクに流し込んでください。
シンクの最大容量は約 30 L ですが、流し込む際に溢れないよう、一度に流す量は 20 L 程度にしてください。
- 4) 本製品のフットバルブのペダルを踏んでください。本製品内蔵のポンプが作動し、廃液が「OUT 側」配管より排出・移送されます。
- 5) 廃液が排出し終わるとポンプの作動音が変わり、空作動するため、フットバルブのストッパーを軽く蹴るようにして外すことにより、ポンプを停止させてください。

<NOTE>

ポンプの空運転はポンプの寿命に悪影響を及ぼしますので極力避けてください。
フットバルブのストッパーを外す際、勢いよく蹴るとフットバルブを破損してしまう可能性がありますので注意してください。

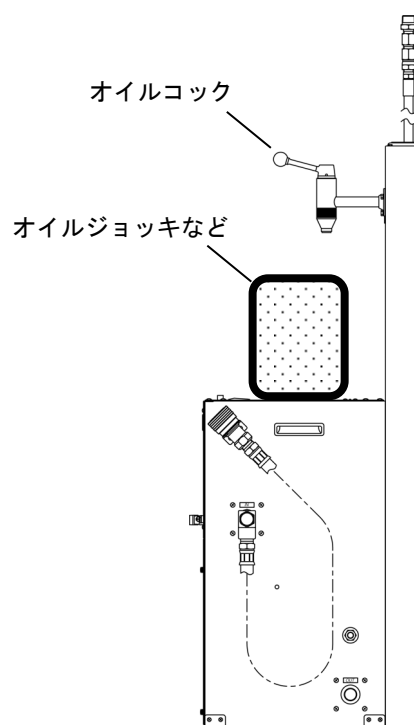


4.2 オイルドレンなどからの廃液排出

- 1) サクションホース内に廃液が残っていないことを確認してください。
廃液が残っている場合、そのままカプラ接続を外すと廃液が床などにこぼれてしまう可能性があります。
この場合、フットペダルの作動によりホース内に残った廃液の排出・移送を行ってください。
- 2) オイルドレンやドレンカートの本製品の近くまで持ってきて、カプラ接続してください。
- 3) ボールバルブを”カプラ”に切り換えてください。
- 4) 4.1 項の 4)～5)同様、フットバルブの操作により、廃液を排出・移送してください。
- 5) 作業終了後、カプラ接続を外してください。
- 6) カプラをフックに収納してください。

4.3 新油の供給（給廃油キャビネットのみ）

- 1) オイルコックの下にオイルジョッキなどの受けを置いてください。
- 2) オイルコックのレバーをゆっくりと操作してください。新油が供給されます。
また、連続して流量を得たい場合にはオイルコックを写真のようにロックさせください。オイルコックが解放状態のままとなります。
- 3) 必要量が供給された後、レバーを戻してください。



オイルコックをロックした状態

5. 保守・点検

5.1 日常点検

- ・本製品を使用する前には毎日必ず下記の事項を点検してください。異常を発見した場合は、原因を究明して、処置を行うまでポンプを運転しないでください。給廃油キャビネットの場合にはオイルコックも処理を行うまで操作しないでください。

- a) 各接続部やポンプから液材の漏れがないことを確認してください。
- b) サクションホースに折れや破損がないことを確認してください。
- c) ポンプ作動中に異音がないことを確認してください。
- d) パッキンやグロメットなどに摩耗・劣化がないか確認してください。
- e) シンクに廃液が溜まっていないことを確認してください。(終業時にも確認してください)

5.2 定期点検

- a) シンク内のパンチングアミを取り外し、清掃してください。
- b) 各部の接続箇所に緩みがないことを確認してください。
(ポンプの増し締めについては「整備要領書 NDP 019M」を参照してください。)
- c) ポンプや各消耗部品について交換時期を過ぎていないことを確認してください。
- d) オイルコックやホースの各フィルターに詰まりがないか、確認してください。(給廃油キャビネットの場合)
- e) シンク内やコシアミに異物があつた場合は取り除いてください。

5.3 消耗品

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期	備考
695911	ホース A	1 本/台	1 年	ポンプ OUT 側
695934	ホース B	1 本/台	1 年	ポンプ IN 側
695935	サクションホース	1 本/台	1 年	
695936	ホース C	1 本/台	1 年	シンク側
695659	ホース	1 本/台	1 年	排出口接続用／DCB-300V 付属品
570068	ナイロンチューブ	1 本/台	1 年	
695061	耐油ホース	仕様による	1 年	背板上部接続用／OSC-301～304V 付属品
PGR/OT	パッキン	仕様による	1 年	オイルコック (686827) 用
ORG/BS125	O リング	仕様による	1 年	オイルコック (686827) 用

5.4 保守

警告



- ポンプの分解・点検・消耗品交換を行う場合は、人身事故を防止するため、必ず供給エアを止めて、配管内およびポンプ内の残圧を除去してから行ってください。

注意



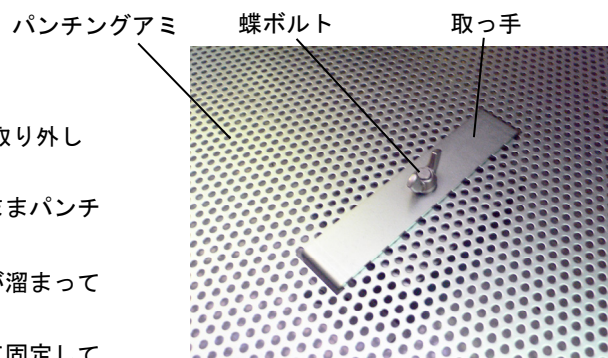
- 本製品シンク内のパンチングアミを取り外すときは、異物の有無を十分に確認してください。異物の落下などはポンプの故障の原因となります。



- 部品を洗浄する際、NBR、ウレタンゴム、銅合金、鉄ステンレスなどを腐食するような液材や揮発性の高い液材は、使用しないでください。

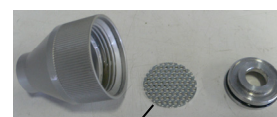
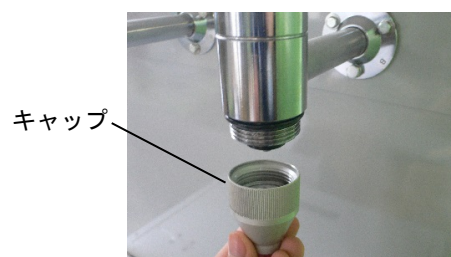
■アミおよびシンクの清掃方法

- 1) 上蓋を開いてください。
- 2) シンク内のパンチングアミを固定している蝶ボルトを取り外してください。
- 3) 蝶ボルトにて共締めしていた取っ手を引き出し、そのままパンチングアミを持ち上げて取り外してください。
- 4) シンクを清掃してください。なお、コシアミ部に異物が溜まっている場合には除去してください。
- 5) 清掃後、パンチングアミを元に戻し、再び蝶ボルトにて固定してください。



■フィルターの清掃方法＜給廃油キャビネットの場合＞

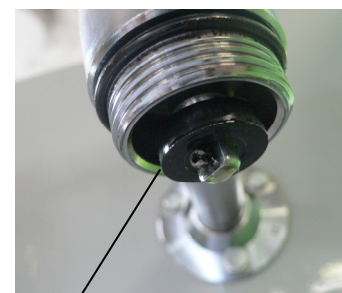
- 1) 新油供給元のバルブが閉じられていることを確認してください。
- 2) オイルコックを開け、配管内の圧力を解放してください。
- 3) オイルコック先端のキャップを外してください。
- 4) キャップ側にフィルターがありますので、取り外して清掃してください。
- 5) 清掃後、キャップにフィルターをセットし、オイルコック本体へ組み付けてください。



フィルター

■パッキンおよびOリングの交換方法 ＜給廃油キャビネットの場合＞

- 1) 新油供給元のバルブが閉じられていることを確認してください。
- 2) オイルコックを開け、配管内の圧力を解放してください。
- 3) オイルコック先端のキャップを外してください。
- 4) 割ピンを外し、パッキンを新品と交換してください。
(「6.4 686827 オイルコック (OV-55)」の項の図を参照)
- 5) パッキンを交換後、割ピンを差し込んでください。
- 6) Oリングの交換が必要な場合は新品と交換してください。
- 7) Oリングをキズつけないようにキャップを組み付けてください。
Oリングがキズついてしまった場合、漏れの原因となります。



パッキン

■フィルター（ホース先端部）の清掃方法 ＜給廃油キャビネットの場合＞

- 1) 新油供給元のバルブが閉じられていることを確認してください。
- 2) オイルコックを開け、配管内の圧力を解放してください。
- 3) フィルター付きアダプターを取り外し、清掃してください。
- 4) 清掃後、ネジ部にシールテープを巻き、再びフィルター付きアダプターを取り付けてください。



フィルター付きアダプター

5.5 故障の点検とその対策

状 況	点 検 方 法	対 策
ポンプが作動しない	供給エアは正常か → エア供給源・配管は正常か コンプレッサーは正常か → レギュレーターに異常はないか → ポンプに異常はないか →	0.4～0.5 MPa に調整 点検・修理 点検・交換 ※ ダイアフラムポンプ「取扱説明書 NDP 123U」 をご覧ください
ポンプは作動するが 廃液が排出されない	ポンプに異常はないか → ボールバルブの切り換えが正常か →	ダイアフラムポンプ「取扱説明書 NDP 123U」 をご覧ください 切り換え方向の確認
廃液は排出されるが 流量が少ない	供給エアは低下していないか → コンプレッサーは正常か → バルブは開いているか → レギュレーターに異常はないか → 内部ホースが折れていないか → ポンプ排気口のサイレンサーに 詰まりはないか → 排水口(コシアミ)、吐出口に詰まりはないか → エア切り換え機構が凍結していないか → ポンプに異常はないか →	0.4～0.5 MPa に調整 点検・修理 点検 点検・修理 ※ 折れないよう配管し直してください 交換 ※ 清掃 解凍 ダイアフラムポンプ「取扱説明書 NDP 123U」 をご覧ください

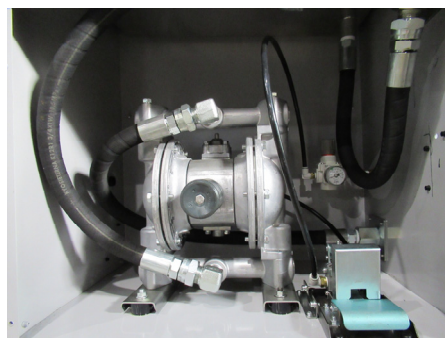
※お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

＜給廃油キャビネットの場合＞

状 況	点 検 方 法	対 策
オイルコックから 新油が供給されない	油脂庫内の新油ドラム缶内に 新油が入っているか → キャビネットまでの配管に 詰まりがないか → 新油供給用ポンプが作動しているか → 配管部およびオイルコック内のフィルター に詰まりがないか →	点検 点検 点検 点検・清掃
オイルコックから 新油が供給されるが、 流量が少ない	新油供給用ポンプが 満足に作動しているか → 配管およびオイルコック内のフィルターに 詰まりがないか →	点検 点検・清掃
オイルコックから 新油供給が止まらな い	オイルコックが破損していないか → オイルコック内のパッキンが 損傷していないか →	点検・修理・交換 点検・交換

5.6 ポンプの取り外し方

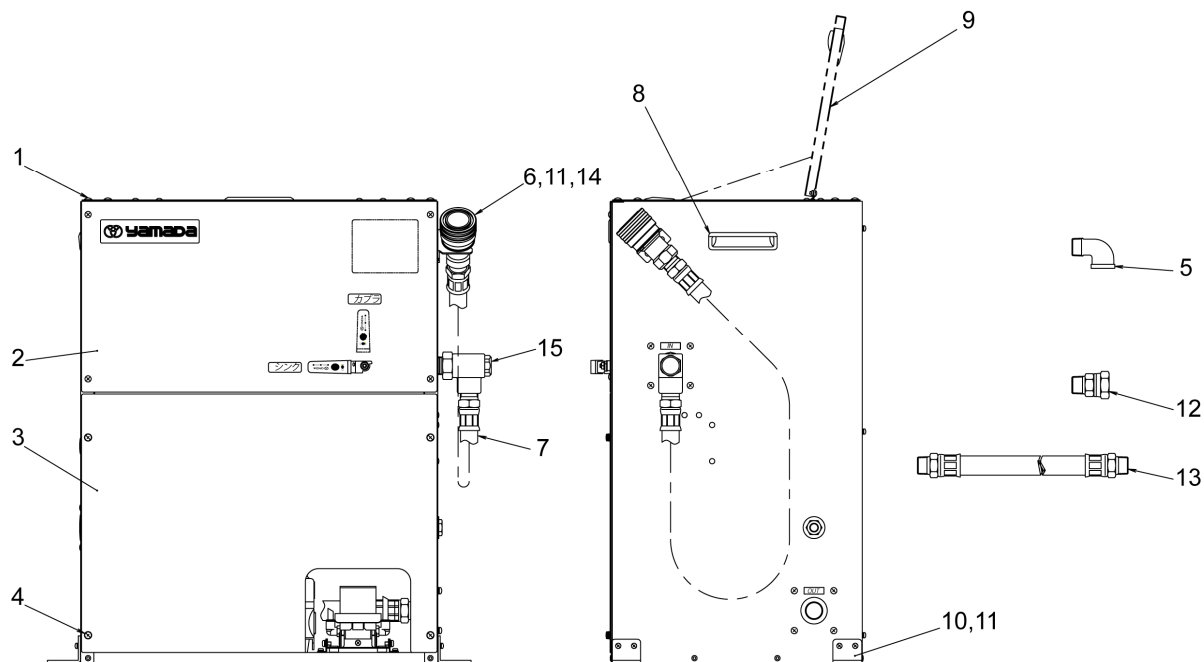
- 1) ポンプへのエア供給を止めてください。
- 2) 本体前面のパネルを取り外してください。
- 3) ポンプへ接続されているナイロンチューブを取り外してください。
- 4) ポンプ IN 側および OUT 側へのホース接続を外してください。
- 5) ポンプを固定しているポンプ足元にあるナットを外してください。
以上により、ポンプを取り外すことが可能です。



※ ポンプのメンテナンスについては下記 URL より「整備要領書」の「NDP-20 シリーズ」をダウンロードしてください。
<https://www.yamadacorp.co.jp/support/download/>

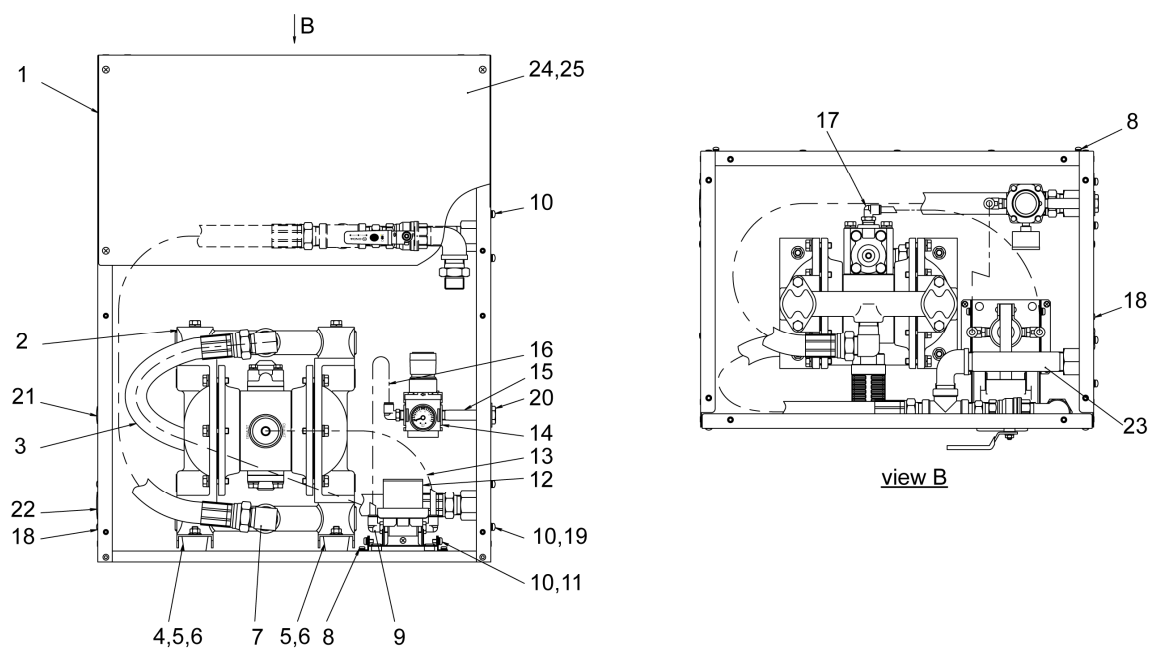
6. 組立図・パーツリスト

6.1 881218 ドレンキャビネット (DCV-300V)



No.	部品番号	部品名称	員数
1	609019	トラス小ネジ	8
2	855272	本体組立	1
3	717375	パネル	1
4	687149	化粧ネジ	4
5	634034	ストリートエルボ	1
6	687213	ソケット	1
7	695935	サクションホース	1
8	686985	取っ手	2
9	805321	油受け組立	1
10	717203	アングル	4
11	684601	バネ座平座付きナベ小ネジ	10
12	680082	ユニオンアダプター	1
13	695659	ホース	1
14	717416	フック	1
15	687361	スィベルジョイント	1

6.2 855272 本体組立



No.	部品番号	部品名称	員数
1	833237	フレーム組立	1
2	854990	ダイヤフラムポンプ組立	1
3	695911	ホースA	1
4	611148	ボルト	1
5	682276	フランジ付ナット	4
6	770551	ゴム足	4
7	680088	エルボ	2
8	684601	バネ座平座付ナベ小ネジ	10
9	683585	エルボフィッティング	3
10	683347	セムス小ネジ	12
11	715360	ブラケット	2
12	684356	フットバルブ	1
13	570068	ナイロンチューブ	1
14	686999	レギュレーター	1
15	683563	ロングニップル	1
16	570068	ナイロンチューブ	1
17	683584	エルボフィッティング	1
18	686083	ホールプラグ	8
19	833205	ソケット組立	1
20	681318	パネルユニオン	1
21	686986	ホールプラグ	1
22	686987	ホールプラグ	1
23	805322	配管組立	1
24	833238	前板組立	1
25	608992	トラス小ネジ	4

※ 854990 ダイアフラムポンプ組立については下記 URL より「パーツリスト（部品分解図）」の「NDP-20BA シリーズ」をダウンロードしてください。
<https://www.yamadacorp.co.jp/support/download/>

6.3 881219～881222 給廃油キャビネット

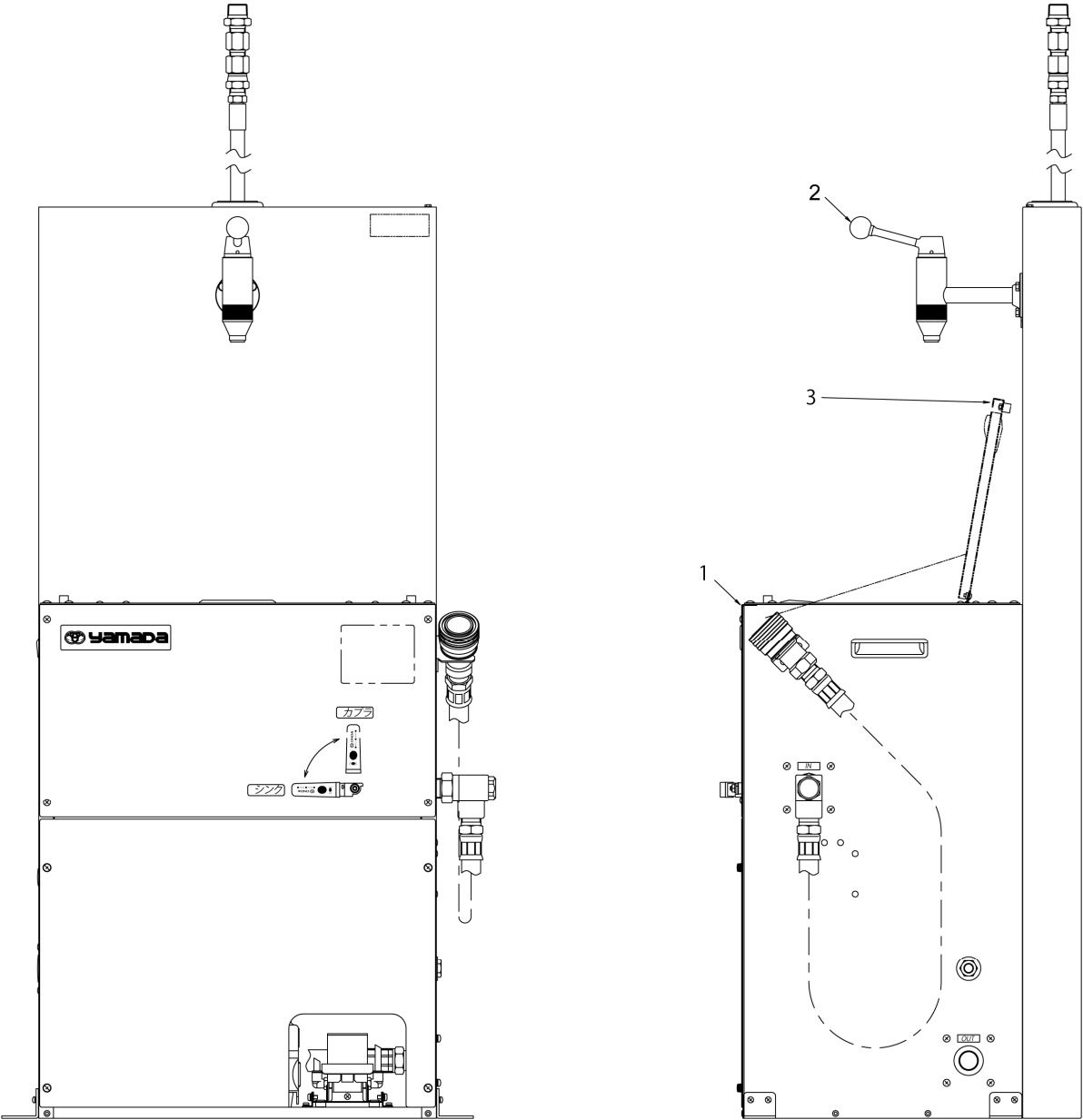
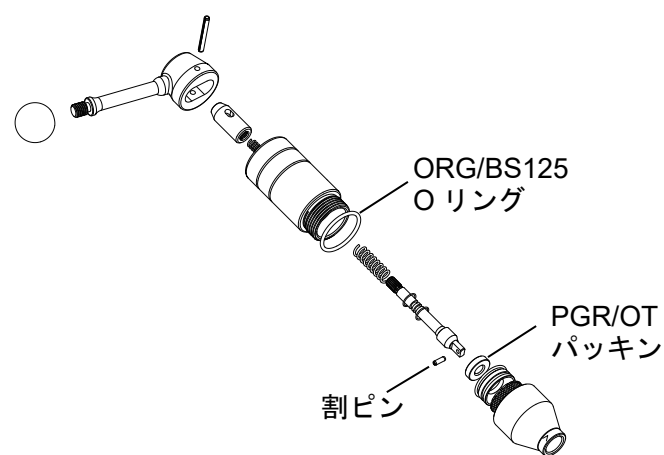


図 : OSC-301V

No.	部品番号				部品名称	員数
	OSC-301V	OSC-302V	OSC-303V	OSC-304V		
1	881218	←	←	←	ドレンキャビネット	1
2	805243	805244	805245	805246	オイルバルブスタンド	1
3	805248	←	←	←	上蓋	1

6.4 686827 オイルコック (OV-55)



部品番号	部品名称	員数			
		OSC-301V	OSC-302V	OSC-303V	OSC-304V
686827	オイルコック	1	2	3	4
PGR/OT	パッキン(オイルコック用)	1	2	3	4
ORG/BS125	Oリング(オイルコック用)	1	2	3	4

7. 主要諸元

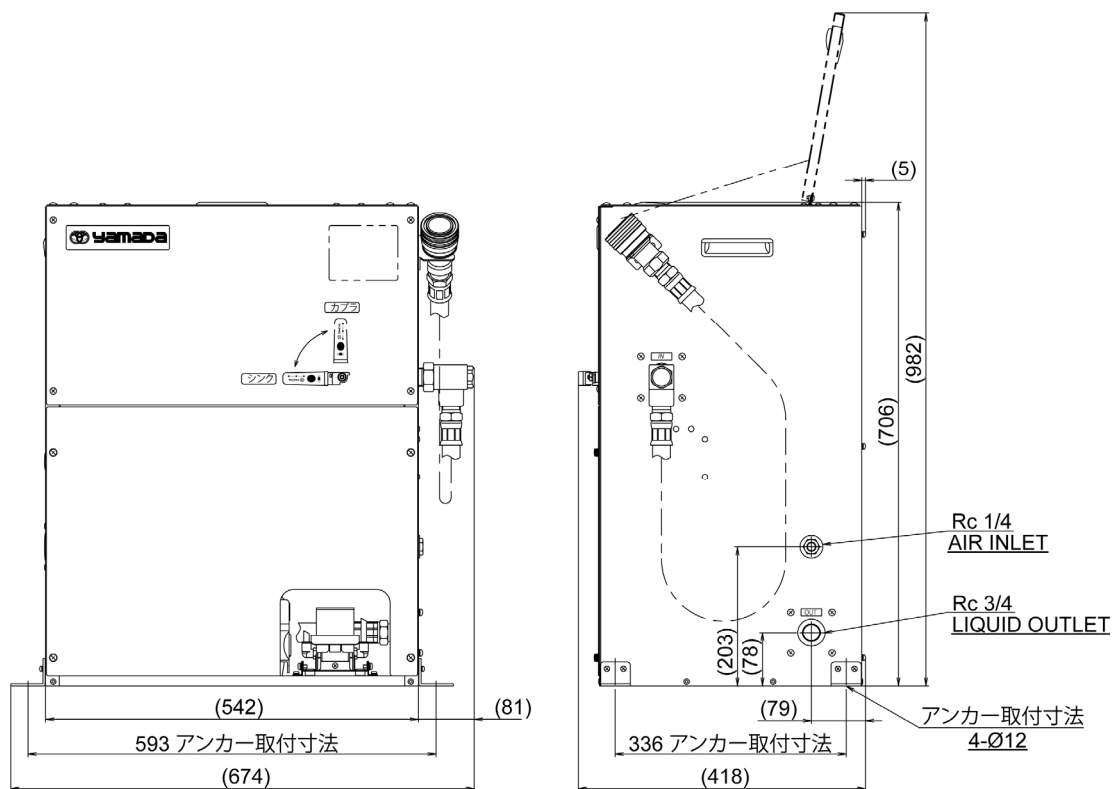
7.1 仕様

名 称	ドレンキャビネット
型 式	DCB-300V
製 品 番 号	881218
性 能	廃油排出量：シンク...約 40.3 L/min ホース...約 27.9 L/min ※オイル：ISO VG46／30℃、供給エア圧：0.4MPa 時
ポンプ	NDP-20BAH
シンク	最大 30 L
ホース	吸込側：1.0 m (φ26×φ19) 排出側：0.7 m (φ26×φ19)
質 量	約 41.5 kg
オプション品	773475 ゴムシート 1 枚

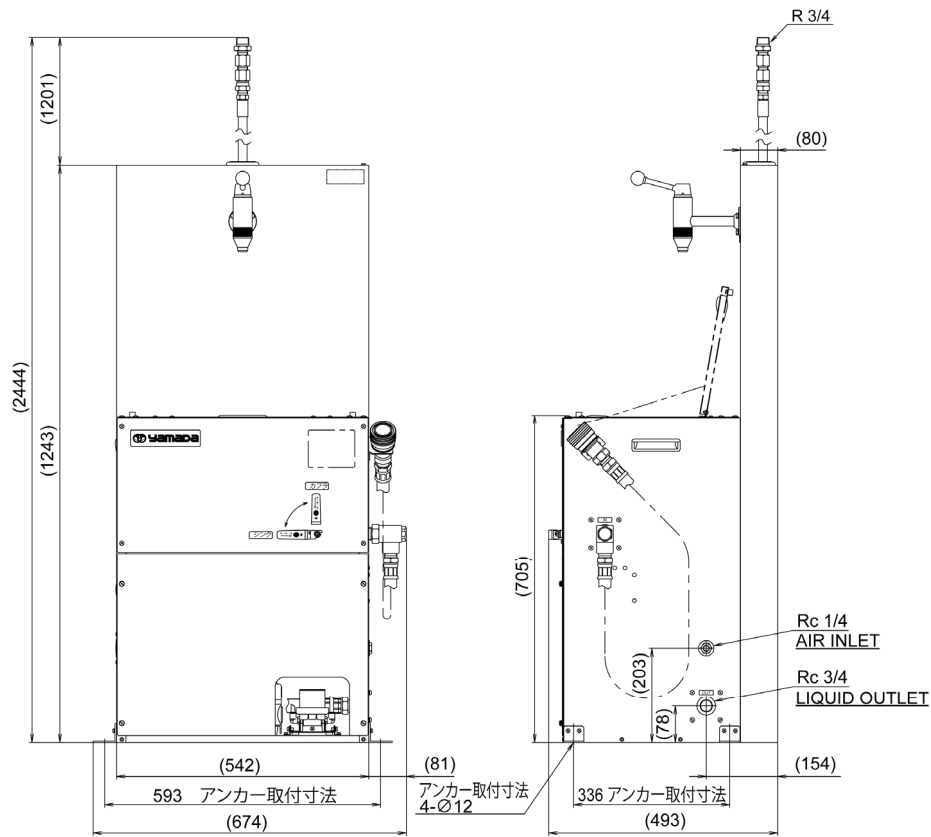
名 称	給廃油キャビネット			
型 式	OSC-301V	OSC-302V	OSC-303V	OSC-304V
製 品 番 号	881219	881220	881221	881222
オイルコックの数	1	2	3	4
オイルコック耐圧	5.5 MPa	5.5 MPa	5.5 MPa	5.5 MPa
総 質 量	約 59 kg	約 60 kg	約 61 kg	約 62 kg

7.2 外観図

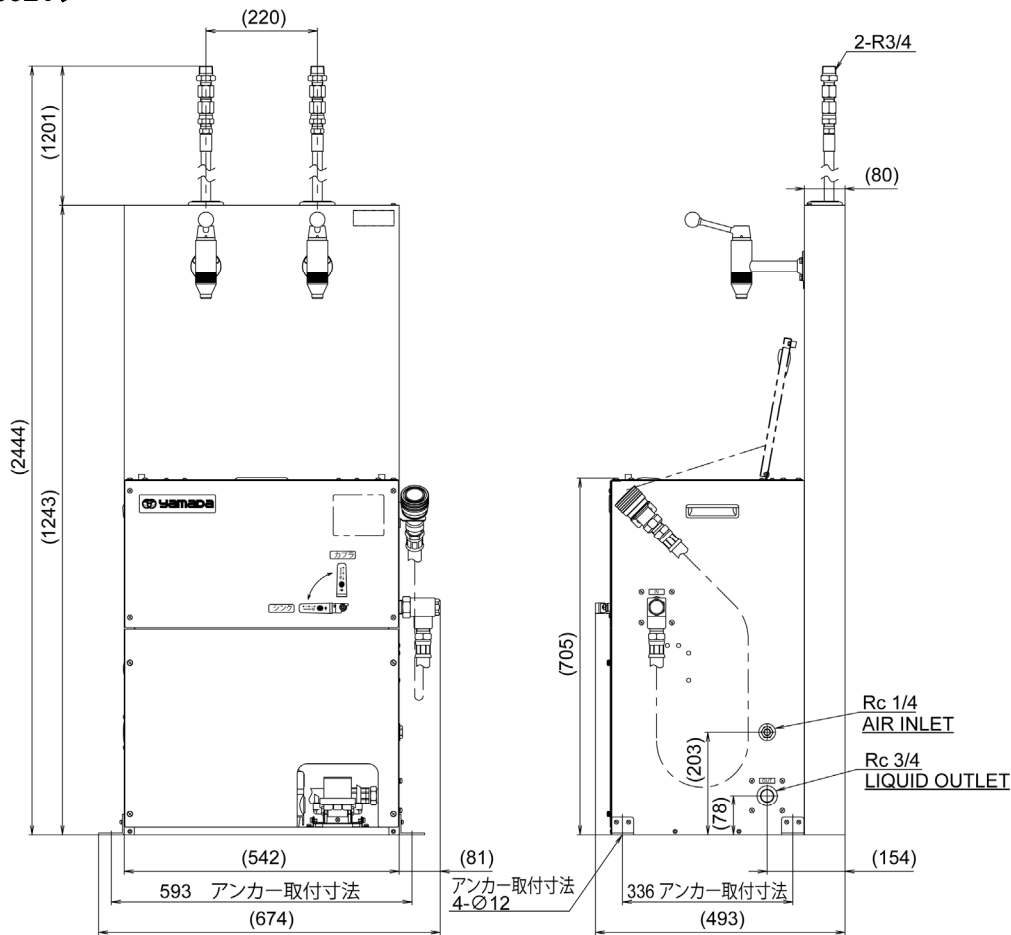
<DCB-300V>



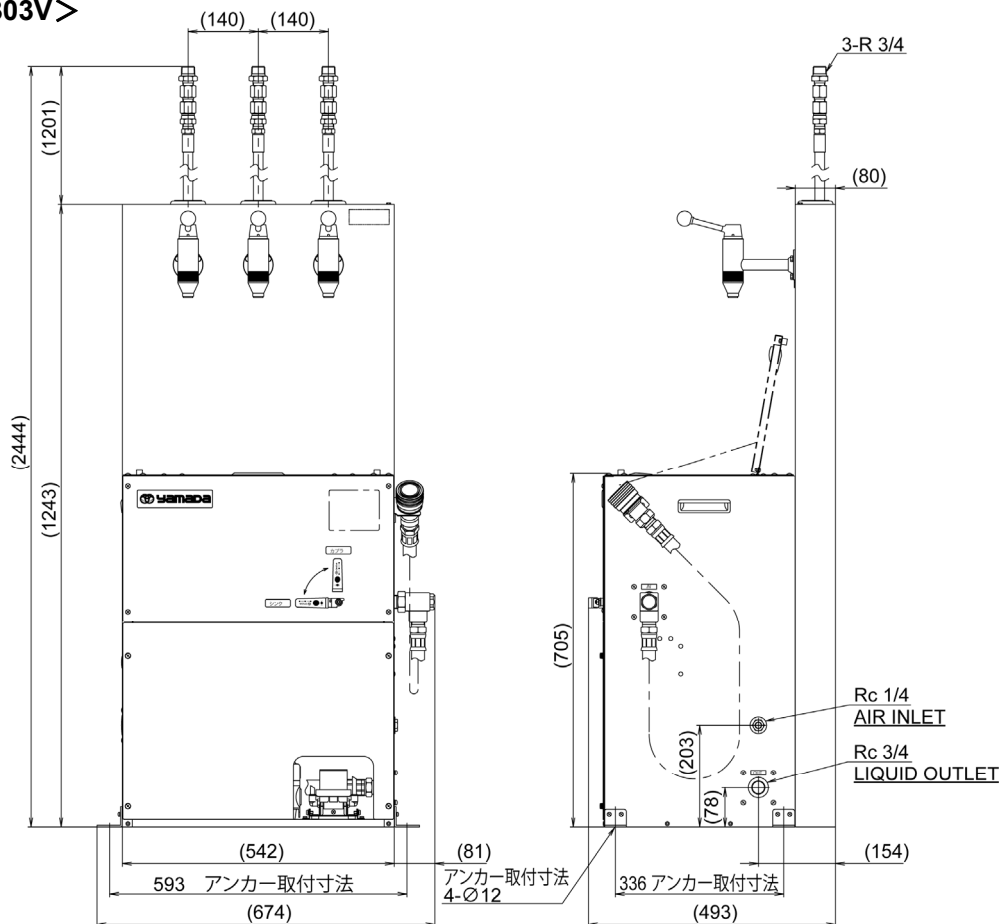
<OSC-301V>



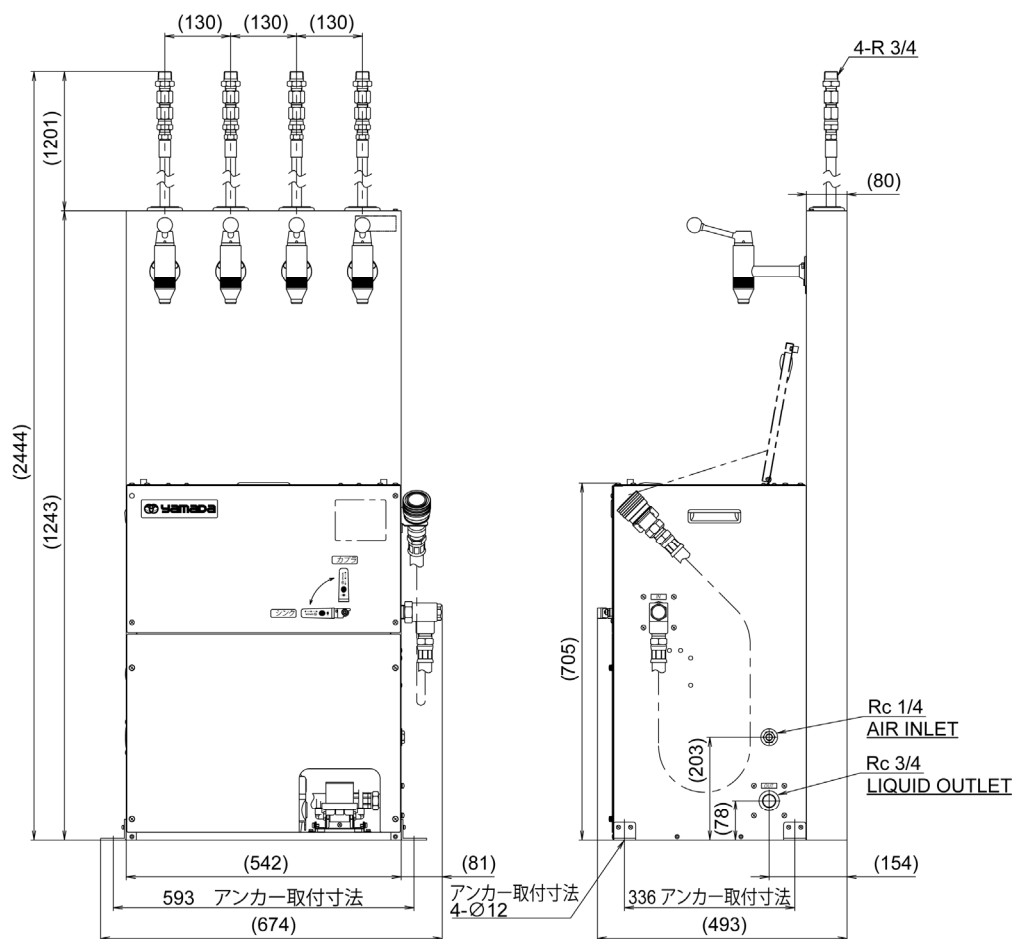
<OSC-302V>



<OSC-303V>



<OSC-304V>



8. 製品保証登録シート

・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____		フリガナ ご担当者名 _____																												
郵便番号 _____ フリガナ ご住所 _____ _____		ご所属 _____ ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																												
■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。 <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報は当社の個人情報方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

9. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用した場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055